



市報

ちようふ

発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：<https://www.city.chofu.lg.jp/>

市役所代表：
☎042-481-7111

CONTENTS(主な内容)

- 窓口受付時間を変更……………3
- 郵便等投票制度のご利用……………3
- もしもの時の大雨に備えよう……………7~10
- FC東京ニュース……………16

市報ちようふの配布に関する問い合わせ
市報ちようふ配布コールセンター(配布受託業者(株)小平広告)
☎042-300-3131

5月31日は世界禁煙デー

問健康推進課☎441-6100

世界禁煙デーは、WHO(世界保健機関)が定めた禁煙を推進する日です。
日本では毎年5月31日~6月6日を「禁煙週間」としています。

受動喫煙のない社会を目指して

禁煙について 考えて みませんか。



調布市受動喫煙
防止条例については
こちらをチェック!



詳細は2面をご覧ください➡

手をつなぐ樹 442



忍音とは？

もう随分前のことになるが、ある時、無性に童謡が聴きたくなってビデオの童謡全集を買った。里山や浜辺などの幼い時代への郷愁の念を心に呼び覚ますような情景を目にしたが、小学校時代に習い覚えた歌の数々を口ずさめば、わけもなく胸に熱い思いが(グラスを傾けるときなど特に)こみ上げてきた。四季折々の数多い童謡の中で、人によって愛唱歌は異なり蘇る思い出も様々だろうが、たとえば今の季節、毎年のように私が自然に口ずさむのは、「夏は来ぬ」。「卯の花の匂う垣根に ほととぎす 夏は来ぬ」。

この歌も例外ではないが、唱歌の多くは明治・大正時代につくられ、歌詞は現代語とは文法が異なり、子どもには理解し難い単語も使用されている。だが、そのような要因を超えてなお、幼心の感性に素朴に何かを訴える力が叙情歌としての童謡にはあるのではないだろうか。

それだけに、時代が移り生活環境が変化したとしても、現代において歌詞の意味を理解し、たい、というだけの理由で特定の歌を排除しようとする動きに、安易に同調するわけにはいかない。たとえ「ふいごの風さえ息をもつがず」の「村の鍛冶屋」の存在を確認することが今では容易でないとしても、古い時代の日本のどかさをなんとなく心に思い浮かべることができれば、それだけでその歌の存在価値があると私は思うのだが。

調布市報

長友貴樹

(註) ほととぎすの声をひそめるような鳴き声。

